

シニックの森づくりとは

シニックバイウェイ北海道では2005年度よりCO₂削減に配慮したエコツーリングの提案や、ドライブ観光の際に排出されるCO₂を植樹によって埋め合わせる「カーボン・オフセット」を取り組んでいます。

この取り組みの一環として「シニックの森」づくりを2008年度からスタートしました。「シニックの森」で、北海道を訪れた観光客のみなさんに費用を負担していただき、ドライブで排出されたCO₂を、植樹によりオフセットしてもらうというものです。

植樹を通じて地域とのふれあいや関心を深めるとともに、ドライブで排出しているCO₂を木がどれ位の期間で吸収するか実感を持って認識いただくことで、環境に配慮したドライブ観光を目指しています。

※シニックバイウェイ支援センターは、平成20年5月12日にシニックバイウェイ推進協議会より「シニックの森」の認定機関の指定をうけました。シニックバイウェイ北海道の各ルートから申請を受け審査し「シニックの森」として確認を行うほか、「カーボンオフセットのための植樹を行いたい方」「シニックの森づくりに参加したい方」「カーボンオフセット型のツアーを企画されている方」への対応を行います。

■シニックの森認定までの流れ



シニックの森づくり(シニックバイウェイ・カーボンオフセット)が目指すもの

■環境に優しい新しい旅の形と一緒に育てたい

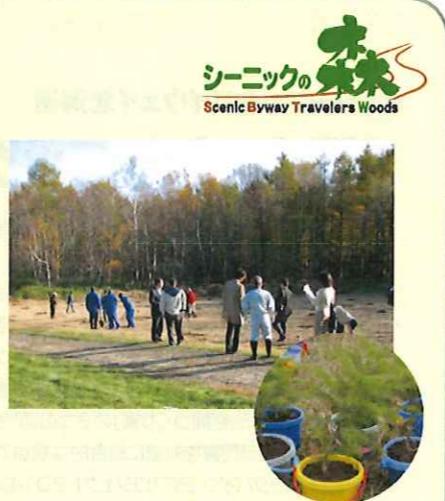
多くの人に地域の宝を見つめらるためには、車の利用が必要となりCO₂をどうしても排出してしまいます。地球に負担をかけないために、多くの人に森づくりに参加してもらい、楽しみながら環境にも優しい、新しい旅の形を広めて行きたいと思っています。

■地球環境のことを考えるきっかけにしてほしい

成長が早いといわれているトドマツは30年間で約12mに高さに成長しますが、固定できるCO₂の貯蔵量は1本あたりガソリン約70L分にすぎません。エコツーリングなど日々の生活でのCO₂削減にこれまで以上に取り組むきっかけにして欲しいと思っています。

■訪れる方との出会いを大切に育てたい

木は成長するほどCO₂吸収量が飛躍的に増加します。観光客の皆様が植樹した木は、シニックの森として成長していきます。自分が植樹した木に愛着を持ち成長を、また現地に訪れて見てもうら。そんなつながりも育てて行きたいと思います。



■シニックバイウェイ北海道推進協議会構成団体・機関

北海道商工会議所連合会、北海道経済連合会、北海道商工会連合会、北海道観光振興機構、日本観光振興協会北海道支部、日本旅行業協会北海道支部、北海道農業協同組合中央会、北海道林業協会、日本自動車連盟北海道本部、北海道市長会、北海道町村会、北海道、林野庁北海道森林管理局、経済産業省北海道経済産業局、環境省北海道地方環境事務所、国土交通省北海道運輸局、国土交通省北海道開発局

発行



シニックバイウェイ北海道推進協議会事務局

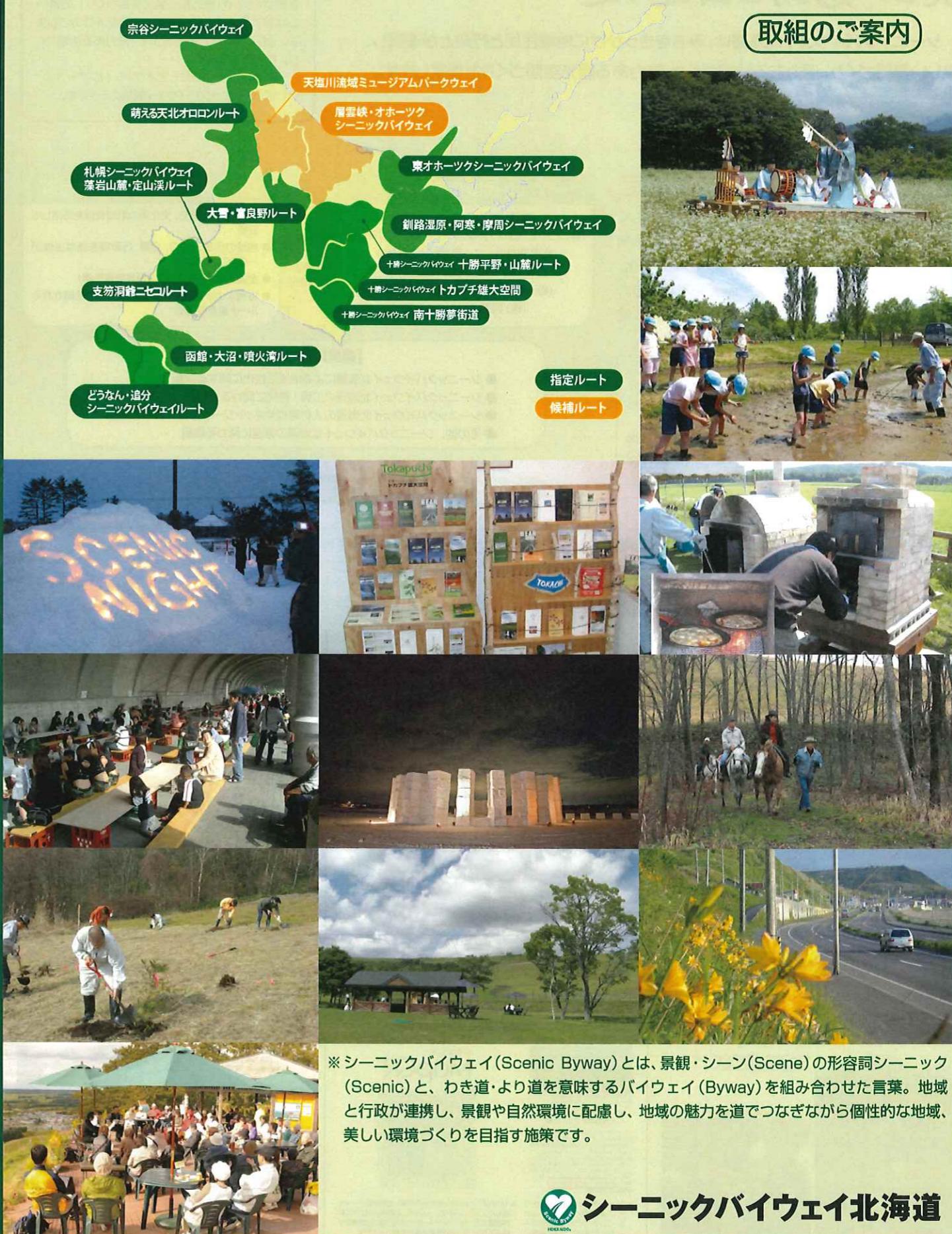
TEL:011-709-2311 詳しくは▶ URL : <http://www.hkd.mlit.go.jp/sbh/>
〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第一合同庁舎 国土交通省北海道開発局

開発監理部 開発調整課
建設部 道路計画課

H28.01

シニックバイウェイ北海道

取組のご案内



※シニックバイウェイ(Scenic Byway)とは、景観・シーン(Scene)の形容詞シニック(Scenic)と、わき道・より道を意味するバイウェイ(Byway)を組み合わせた言葉。地域と行政が連携し、景観や自然環境に配慮し、地域の魅力を道でつなぎながら個性的な地域、美しい環境づくりを目指す施策です。

シニックバイウェイ北海道

シニックバイウェイ北海道

美しい感動と出逢う道

シニックバイウェイ北海道は、みちをきっかけに地域住民と行政とが連携し、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを提案します。

■ 民間企業等との包括連携協定

シニックバイウェイ北海道は、競争力のある美しく個性的な北海道を実現していくことを目的として、民間団体・企業等と、北海道固有の景観、自然、歴史、文化、レクレーション資源等地域資源を最大限活用し、双方の資源を有効活用した効果的連携活動として、連携に関する包括協定制度を平成24年度より開始しました。

平成24年12月1日 株式会社トヨタレンタリース札幌、(株)グランピスタホテル&リゾート札幌グランドホテル、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、Follow Me Japan Pte.Ltd.、(株)デンソーセールス北海道支社、(株)阿寒グランドホテルとの包括連携協定が締結される。
平成25年6月24日 株式会社デンソーセールス北海道支社、株式会社阿寒グランドホテルとの包括連携協定が締結される。

シニックバイウェイオフィシャルマークについて

地域の人たちが主体となって取り組む「美しい景観づくり」や「魅力ある観光空間づくり」の熱い心は訪れる人たちに感動のココロを呼びおこします。「心とココロ」が出逢う時「活力ある地域づくり」が動き出します。

「道」をハートの形にしたオフィシャルマークは、いわば「シニックバイウェイ制度の心」です。

民間企業

- (株)トヨタレンタリース札幌
- (株)グランピスタホテル&リゾート札幌グランドホテル
- 北海道コカ・コーラボトリング(株)
- Follow Me Japan Pte.Ltd.
- (株)デンソーセールス北海道支社
- (株)阿寒グランドホテル

連携・協働による資源の有効活用

シニックバイウェイ北海道

- 景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活用した取組
- 地域の住民、NPO、企業、行政等多様な主体が一体となった体制
- 全国的なネットワーク（日本風景街道）
- 官民による協議会及び学識者により組織されるルート審査委員会

連携協定の項目

- シニックバイウェイ北海道による地域活性化に関する取組
- シニックバイウェイ北海道の広報・啓発に関わる取組
- シニックバイウェイ北海道の人材育成やネットワーク形成に関わる取組
- その他、シニックバイウェイ北海道の推進に関わる取組

競争力のある美しく個性的な北海道

※包括連携協定の募集条件・提案応募方法などの詳細は、シニックバイウェイ北海道推進協議会HPをご覧ください。

http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_doro/sbh/index.html

■ 包括連携協定企業との連携取組事例



トヨタレンタリース札幌

・シニックドライブマップ、Scenic Byway（ドライブ観光情報紙）での企業広告
・トヨタレンタリース札幌とシニックバイウェイ北海道の連携企画「シニック・トレジャーハント」の展開
・トヨタレンタリース札幌とシニックバイウェイ北海道の連携企画「シニック＆北海道ご当地キャラスタンプラリー2013」の展開
・トヨタレンタリース札幌、札幌駅東店、新千歳空港ボブ店でのシニック展示ブース設置



SAPPORO GRAND HOTEL

・ホテル館内でのシニックバイウェイ北海道PR展示（継続事業／通年）



Follow Me JAPAN

・シニックルートを巡るドライブツアー企画
・シニックルートを巡るサイクリングツアー企画
・シンガポール旅行商談フェアでのPR



株式会社デンソーセールス

・シニックバイウェイ北海道広報ツール（HP、冊子など）へマップコードの無償提供
・シニックバイウェイの広報ツールへMAP QRを提供。

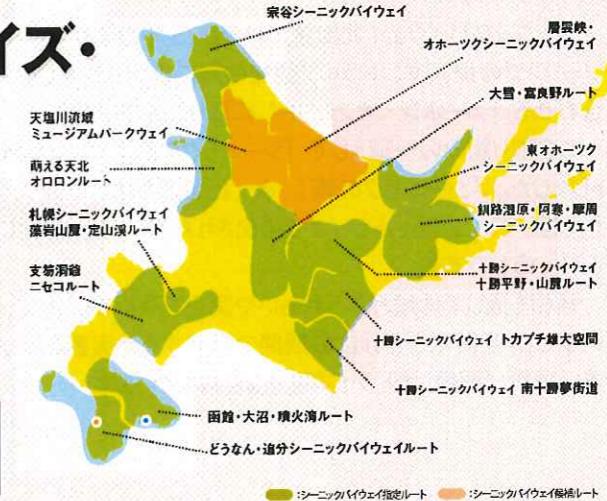


シニックバイウェイ北海道

ベスト・シニックバイウェイズ・プロジェクト2014

シニックバイウェイ北海道推進協議会では、平成20年度よりシニックバイウェイ北海道の推進に向けて、他の模範となり、将来への発展性が高く評価できるルート活動を選出し表彰する「ベスト・シニックバイウェイズ・プロジェクト」の取り組みを実施しています。本年より、「美しい景観づくり賞」「活力ある地域づくり賞」「魅力ある観光空間づくり賞」の3つの部門賞と活動団体の投票による活動団体賞を設け、部門賞を対象に総合的な視点で最優秀賞を決定しています。「ベスト・シニックバイウェイズ・プロジェクト2014」の受賞活動をご紹介します。

■シニックバイウェイ北海道推進協議会
http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_doro/sbh/
■シニックバイウェイ北海道 <http://www.scenicbyway.jp/>



ライフコンシェルジュ※
育成事業 ※ご当地風土アドバイザー

十勝シニックバイウェイ タブチ雄大空間

ライフコンシェルジュ（ご当地風土アドバイザー）とは、十勝の魅力や生活の楽しみを伝える観光ボランティアガイドです。本事業は十勝の魅力発信のツールとして、観光拠点（シニックカフェ十勝が丘展望台、帯広駅構内とかち観光案内所）やバスツアーでのガイド実施、イベントでの地域PRを行う等、「おもてなし」活動の向上に取り組んでいます。プロのガイドではありませんが、十勝で暮らす人が地域のおすすめ情報や魅力を伝えるという、温かみ溢れるガイド活動が十勝管外から訪れる方に特に好評です。ライフコンシェルジュとしての活動や経験が評価され「いただきますカンパニー」の看板ガイドとしても活躍の場を広げています。



景観阻害看板の再生
十勝シニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

ルート発足時から景観形成分科会を設置し、研修会などを通してルート内の景観保全について検討を続けてきました。検討の結果、ルート内に景観を阻害する不要看板が多数存在していることが分かり、撤去するのではなく、有効活用すること目的にルート名とロゴマークを入れたPR看板へのかけ替えを実施しています。この取組みは、平成22年度から継続しており、観光客や他ルートの団体からも周知・PRにつながるという評価を得ています。今後もルートの活動として継続していく予定です。



雪のワークショップ
大雪・富良野ルート

旭川市聖和小学校と上富良野町教育委員会（放課後クラブ）と連携し、児童を対象とした「雪とアート」のワークショップを開催。野外講座で雪の特性や自然環境の知識を学ぶ「基礎学習」と、雪や寒さをテーマとした「アートワーク」の2部構成で、児童が制作したアートワークは、ウインターサーカスの会場に展示している。



札幌シニックバイウェイ 藻岩山麓・定山渓ルート

テーマ：「住んでよし、訪れてよし」の都市空間
～都市と自然と人が繋ぎ出す札幌の魅力～

札幌市の南西部、都心から30分～1時間の所に位置し、交通アクセスが良く、開拓時代からオリンピックまでの歴史、美術館、工房、科学館、大学などの学びの体験や標高1000mを超える山、温泉、国営公園など雄大な自然での、キャンプ、スキー、カヌー、乗馬、森林散策、果物狩りなどの自然体験ができる「豊かな環境」とここに住む「人々の暮らし」が調和する魅力的なエリアです。

【活動方針】

- 美しい景観づくり：札幌の玄関口にふさわしい魅力あふれる景観づくり
- 活力ある地域づくり：自然・歴史・文化を伝え、いきいきと暮らせる地域づくり
- 魅力ある観光空間づくり：札幌の奥の深さを感じる滞在型の観光空間づくり



どうなん・追分 シニックバイウェイルート

テーマ：「ひと」と「みち」がつなぐ
北の大地の地域力再生へのチャレンジ

ルートには豊かな自然・歴史・文化・食資源があり、各地域では連携を深めた新たな取組が始まっています。

北海道新幹線開業により新たな交流人口の拡大が予想される今、「ひと」と「みち」の繋がりをより活動に反映させ、活力ある地域再生へのチャレンジします。そして現存する地域の宝物を連携させることにより、付加価値をつけ観光資源にする等、自らが誇りうるものとして取組んでいきます。

【活動方針】

- どうなんの「道」の宝探し、歴史・文化をたどる連携と活用
- 北海道新幹線開業に向けた対応と取組
- ピュースポットの発信と維持活動
- 地域の食と産業を楽しむ体験観光づくり
- 各地域の観光イベントの連携
- 情報共有と情報発信の相乗効果
- 交流人口を高める人材の育成



層雲峡・オホーツクシニックバイウェイ 候補ルート

- 山・海・花の優れた資源を活かした景観づくり
・優れた景観資源の保全と活用
・新たな名所となる隠れた景観資源の発掘・育成
・国内外に向けた景観資源の情報発信
- 地域資源を活かした魅力ある観光空間づくり
・特別な「食」を活かした地域間連携
・地域資源の周遊性向上と滞在日増加に向けた立ち寄り施設充実、地元とのふれあい時間創出
・地域の見える化のスタートとしての着地型観光商品の開発
・既存の周遊観光の魅力増
- 自然環境と歴史・文化を纏にした活力ある地域づくり
・美しい自然環境の保全
・地域に伝わる歴史・文化の発掘・継承
・地域情報の一元化と国内外に向けた発信



天塩川流域ミュージアムパークウェイ 候補ルート

- 自然環境を活かした景観づくり
・ルートの景観向上を目指した「花」の取り組み、広域的な「花街道」づくり、羊と雲の丘、コスマスロード・そばの花觀賞スポットの整備、ひまわり植栽、花觀光の推進 等
・「自然と人道」を繋ぐ取り組み、フトバス、天体観測、ジオパーク構想の推進 等
- 地域の特性と文化を活かした地域づくり
・「知る・観る・触れる」：地域の歴史の掘り起こし、舞台芸術、森林ミュージアム構想
・「学ぶ・伝える」：森林資源を活用した教育、森と川の学校、お打ち文化の普及、「シニックの森」の推進
- 地域産業と特性を活かした観光づくり
・エコミュージアム、持続可能な花觀光の確立、各種イベントの実施（通年）
・広域スタンプラリーの展開
・ご当地グッズの開発
・自然を体感できる参加体験メニュー：森林、木工、釣り、カヌー等
・情報ツールの作成・パンフレット等



■ シニックバイウェイ北海道推進協議会構成団体・機関

北海道商工会議所連合会、北海道経済連合会、北海道商工会連合会、北海道観光振興機構、日本観光振興協会北海道支部、日本旅行業協会北海道支部、北海道農業協同組合中央会、北海道林業協会、日本自動車連盟北海道本部、北海道市長会、北海道町村会、北海道、林野庁北海道森林管理局、経済産業省北海道経済産業局、環境省北海道地方環境事務所、国土交通省北海道運輸局、国土交通省北海道開発局

発行



シニックバイウェイ北海道推進協議会事務局

TEL:011-709-2311 詳しくは▶ URL : <http://www.hkd.mlit.go.jp/sbh/>
〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第一合同庁舎 国土交通省北海道開発局

開発監理部 開発調整課
建設部 道路計画課

シニックバイウェイ北海道

ルート紹介



指定ルートは、地域発案による「ルート運営活動計画」に基づき、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力的な観光空間づくりに取組みます。なお、指定ルートは「行政連絡会議」が設置され、関係機関により各種活動への参加、連携した活動などが行われます。

候補ルートは、ルート独自の地域活動を通して、地域の連携、人材の育成、地域資源の発掘などを進め、ルート全体の理念や目標の熟度を高めて、ルート指定を目指します。

支笏洞爺ニセコルート

テーマ：美しい湖と秀峰、火山に出逢えるルート

支笏洞爺国立公園とニセコ積丹小樽国定公園の2つの国立・国定公園を走る支笏洞爺ニセコルートは美しい湖と秀峰、火山に出会える地域です。支笏洞爺ニセコルートは3つのエリアで構成されています。

【活動方針】

- 「ウェルカム北海道エリア」
- 住民や沿道の企業の協力による北海道の玄関口としての活動展開
- 様々な活動を通じた新たな活動団体の参加促進と地域の連携
- 「洞爺湖エリア」
- エリアの魅力を高めるような持続的な活動の体制づくり
- 各種活動を通じた地元の子どもたちを含めた積極的な人材育成
- 「ニセコ羊蹄エリア」
- 地域コミュニティと連携した羊蹄山や尻別川の景観づくり・自然環境の保全
- きめ細かな情報の発信と地域とのふれあいを大切にした観光の推進



大雪・富良野ルート

テーマ：四季を彩る花人街道

大雪山・十勝岳連峰の裾野と山腹を通る大雪・富良野ルートは、パッチワークのように美しい丘陵田園やラベンダーなどの花々に彩られ、映画やドラマ、CMの舞台となっています。ジャガイモや麦など良質の農産物にも恵まれるほか、十勝岳温泉や吹き上げ露天風呂など数多くの温泉がわき、ゆったりとした時の流れと共に心が癒される環境があります。

【活動方針】

- 大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、丘陵地の田園景観を保全する
- 沿道景観を整えるとともに、コリドーとしての連携や参加意識を醸成する
- ユニアーサルデザインの推進と田園型リラクゼーション観光の充実
- 農業と連携した観光のしきみづくりやオベレーション機能の充実



東オホーツク シニックバイウェイ

テーマ：ロマンティックヒーリング・風を感じて走る道

知床、阿寒の2つの国立公園を有する東オホーツクシニックバイウェイは広大な畑地景観、野趣あふれる山岳、ハクチョウが飛来する湖沼、原生花園、豊かな味覚、明瞭な四季など北海道観光のよさが凝縮されている地域です。また我が国唯一の流水地帯もあり、人々の心を潤し、感動を与えてくれる憧れの地として道内外から多くの観光客が訪れています。

【活動方針】

- オホーツク海や知床連山などを美しく見せるための沿道の保全・啓蒙
- 鮮明な四季の色彩を見せるための沿道の連携やピューポイントの創出
- 風を感じさせるマグネットポイントの創出や滞在メニューの創出・連携
- 農・水・林・地域文化資源の発掘や地域連携による地域情報の発信



シニックマルシェの開催（網走）

除雪ボランティア（ウトロ）

函館・大沼・噴火湾ルート

テーマ：人とととをつなぐ道

空路・海路・鉄路における北海道の玄関口を持ち、「北海道において北海道にあらず、されど東北にあらず」の独特な土地柄を体感できます。函館山をとりまく異国情緒あふれる街並み、乗馬やカヌーなどの自然体験ができる大沼周辺、古代ロマンあふれる縄文遺跡群などがあり、都市景観から農村景観、漁村景観と様々な姿を見せてくれます。また地域住民と来訪者の交流を深める企画として「シニックdeナイト」、「シニックの森づくり」、「シニック清掃活動」などを開催しています。

【活動方針】

- 地域の誇れる景観を掘り起こし、保全・改善、活用する
- 地域一人ひとりが地域資源の大切さを知り、そしてそれを活かす活動を追求する
- 自然の尊さ・人のぬくもりを伝える
- ITや地域メディア等を活用した効果的な情報を共有し、発信する



シニック de ナイト in 函館新道



シニックの森づくり事業
(植樹経過調査)

宗谷シニックバイウェイ

テーマ：あたたかい最北のみち

利尻礼文サロベツ国立公園を有する宗谷シニックバイウェイは、秀峰利尻富士、水平線までつづくサロベツ湿原、海拔0mから高山植物を見ることができる礼文島、雄大な周氷河地形の宗谷丘陵など厳しい環境に育まれた豊かな自然が残る地域です。また自然を活かした広大な酪農場、豊かな漁場もあり、食による感動も与えてくれる日本最北エリアを形成しています。

【活動方針】

- 魅せるための景観形成
- 守り、育てる環境保全
- 「ひと」と「もの」をつなぐ情報発信
- おもてなしの心をもった観光演出
- 地域における連携活動



宗谷の地域資源を掘り起こす
ワークショップの開催



新しい宗谷観光の開発
～宗谷版スイス・モビリティ～

萌える天北オロロンルート

テーマ：暮らしぶりの映し。北の光が続く道。

北海道の日本海側北部に位置し、厳しく、そして美しい自然の中で営んできた「暮らしぶりの映し」が魅力である萌える天北オロロンルートは、日本海オロロンラインとしても親しまれ、暑寒別岳等の山並みや、天売「鳥」、焼尻島への眺望、夕日の階段等、美しい自然景観があります。

【活動方針】

- 愛着と誇りを持てる郷土の景観の保全と創出
- 自然の恩恵である地元食材のブランド化と魅力の発信
- 地球に優しい「暮らしぶり」のお手本づくりと促進
- 暮らしに根ざしたものなしによる暖かい交流の魅力づくり
- 先代の暮らしぶりと新たな価値観を将来に伝え楽しむ



萌か留た（地域情報受発信プロジェクト）



ひらめ底建網オーナー in 遠別（オーナーによる魚の見学
風景とオリジナルたこ焼き「萌天焼」の販売）

十勝シニックバイウェイ

十勝平野・山麓ルート

テーマ：スケールは日本一 広さ・環境・ツーリズム・農

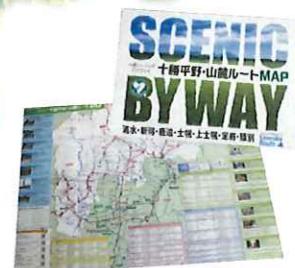
広大な十勝平野の西北部、日高と東大雪の山裾を巡るルート上に、希少な動植物が息づく原生林、訪れる人の心を癒す森と湖、エコツアーやグリーンツーリズムなどのあらゆる体験施設と、地域産業である「農」の素材を活かしたファームレストランなどが数多く点在し、食と農とアウトドアを満喫することができます。

【活動方針】

- 「道とみち、街と町、現在と未来をつなぐ十勝平野・山麓ルート」
活かそう・守ろう・地域資源



シニックカフェ スタンブラー 2015



十勝平野・山麓ルート MAP

釧路湿原・阿寒・摩周 シニックバイウェイ

テーマ：神秘的で優れた自然のあり様を五感で感じるダイナミックルート

釧路湿原国立公園や阿寒国立公園をはじめとする世界的な観光地を含むルートです。手付かずの自然の残るラムサール条約登録湿地、釧路湿原を中心とした釧路湿原エリア、雄大な山岳自然景観に囲まれ、マリモの眠る阿寒湖を中心とする阿寒湖エリア、原始林に囲まれた神秘の湖、摩周湖や屈斜路湖を含む弟子屈エリア、なだらか続く牧草地と格子状防風林が独特の開放感を醸しだす中標津エリアの4つのエリアで構成されています。

【活動方針】

- 美しく個性的な地域景観の形成、まちづくり世界に誇る地域自然の保護と利用
- 「憧れ」を「大好き」に変えるひがし北海道の旅
- 「顔が見える」、「匂が伝わる」活きた情報の発信



そらの森（弟子屈飛行場跡地）
での植樹活動



協働での休憩施設や駐車帯の清掃
活動

十勝シニックバイウェイ トカラチ雄大空間

テーマ：十勝型産業の創出と人口増加

北海道・十勝の空の玄関口である帯広市をはじめ、周辺の7町を含む十勝中部エリアは、中心に広大な十勝平野、西に日高山脈、東に太平洋という恵まれた資源を持ち、また、広大で平坦な畑作酪農地帯という地域特性から「高規格幹線道路」「高所から地域を鳥瞰する」「先人の開拓の歴史」まで含めた四次元空間の魅力が他にないみどころを提供するエリアです。

【活動方針】

- 「観光」ルートの地域資源発掘に力を入れ、魅力あるモデルルートを設定し、新しいメディアを活用して広く情報発信を行います。
- 「地域づくり」ホスピタリティの向上、情報共有や地域住民との連携強化などによる人づくり・街づくりを推進し、十勝型産業の開発を目指します。
- 「景観」美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、カフェの整備を進めます。
- 「環境」環境モデル都市・エリア実践のための連携を強化し、環境に関わる新産業による就業人口や移住・定住人口の増加を目指します。



2014 とかちガーデン・
スイーツ・温泉パンフレット

「ライフコンシェルジュ（ご当地風土ア
ドバイザー）」による観光ガイド活動



学校シニックバイウェイ

十勝シニックバイウェイ 南十勝夢街道

テーマ：夢を育む海と大地と清流のみち

十勝平野の南部に位置する3町2村で構成された「南十勝夢街道」は、雄大な日高山脈を望みながら、いくつもの清流を渡り広大な田園地帯から太平洋へと続く道をつなぐルートです。海と山と大地の魅力を存分に味わうことができるエリアです。

【活動方針】

- 【観光】ホスピタリティの充実をはかり、南十勝にしかない魅力をアピール、地域の連携による着地型観光に取り組む
- 【景観】地域の顔としての美しい景観づくりの推進、景観づくりのためのルール設定、景観を生かした活動を展開する
- 【地域づくり】地域連携、情報拠点としての人材育成に取り組むほか、連携による地域イベントの活性化に取り組む



フォトコンテストカレンダー 2016